

☆子どもがおちんちんを触るのはやめさせるべき？

おちんちんを触る男の子は多くいます。性的な意味は全くなく、一時的なことですので、叱ったり、やめさせたりする必要はありません。

ただし、おちんちんが「痛い」「かゆい」ために触っていることもありますので、おちんちんが赤くなっていないか、湿疹がないかはチェックしましょう。

参考文献

・矢島暎夫著「まじめなオチンチンの話」(カンゼン)

・岩室紳也著「OCHINCHIN」(日本家族計画協会)
「ママもパパも知っておきたいよくわかるオチンチンの話」(金の星社)

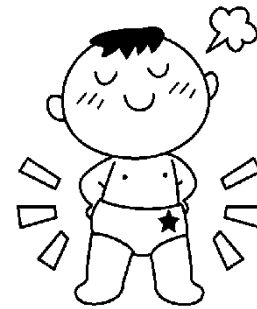
HP : <http://iwamuro.jp/>



八千代市イメージキャラクター「やっち」

おちんちんのケア

男の子のおちんちんケアはどうしたらよいでしょう。
ケアの仕方をまとめてみました。



☆おちんちんはどうなっているの？

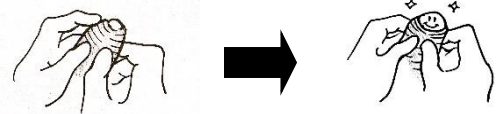
おちんちんの先端を亀頭部、亀頭部を覆っている皮膚を包皮と言います。赤ちゃんはみんな亀頭部が包皮に覆われています(包茎)。



☆子どもの包茎

包茎口が狭いために、おちんちんの先(亀頭)を出せないものを真性包茎といい、新生児ではほぼ 100%、1 歳までの乳児では約 80%、1 歳から 5 歳の幼児では約 60%、小学生では約 30%でみられ、思春期以降ではさらに少なくなります。一般的に、子どもの包茎はほとんどが治療を必要としないと言われていたのですが気になる場合や次に挙げるようなことを繰り返す場合には医師に相談してみましょう。

- ① 泡立てた石鹸で、おちんちん、陰のう、お尻周りを洗います。しわになっている部分や陰のうの裏側などは汚れがたまりやすいので、しわを伸ばしたり持ち上げたりして洗い残しがないようにします。
- ② 石鹸成分が残らないようによく流します。
- ③ 包皮の中を洗う場合は、おちんちんの真ん中くらいに指をかけ、包皮を優しく下にずらします。



- ④ 包皮が伸びたところで、石鹸は使わずにきれいなお湯をかけて流します。流した後は必ず包皮をもとに戻します。

※下げたままにすると、狭い皮膚で締め付けられて、亀頭がひどく腫れることがあるので注意してください。



- ・亀頭包皮炎: 包皮や全体に赤みや腫れがあり、触らなくても痛かったり、おしっこのときに痛みを感じたりします。
 - ・排尿障害: おしっこをするときに、包皮におしっこが溜まって膨らんだり、おしっこが細くしかでなくなることがあります。
 - ・尿路感染: 新生児や乳児では尿路感染の原因になることがあるとされていますが、わが国では非常に少ないのが現状です
- ☆おちんちんはどうやって洗えばいいの？

参考: 日本小児科学会ホームページ 小児外科で治療する病気